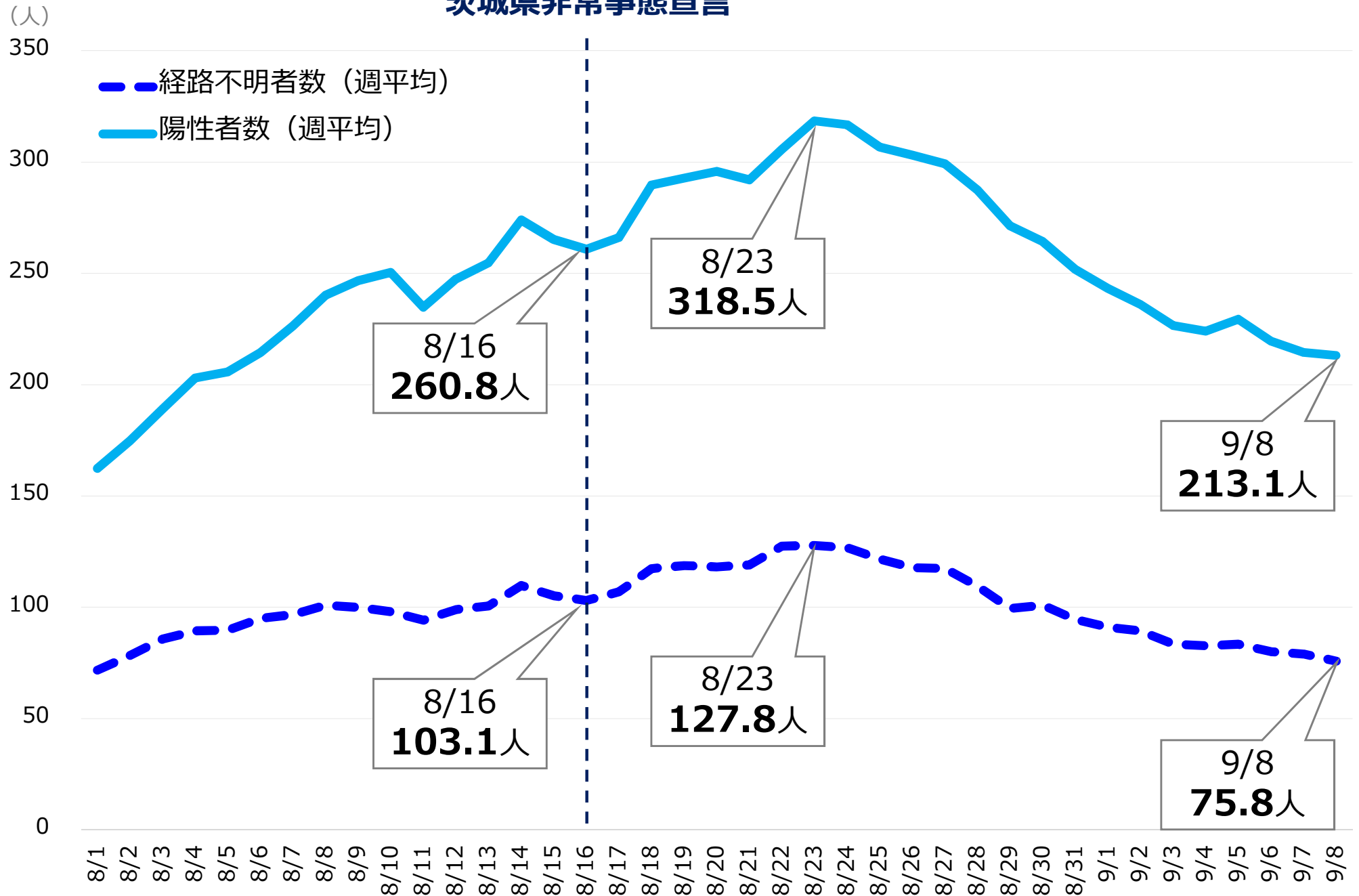


感染状況の推移

➤ 週平均の新規陽性者数はピークから約3割減少。

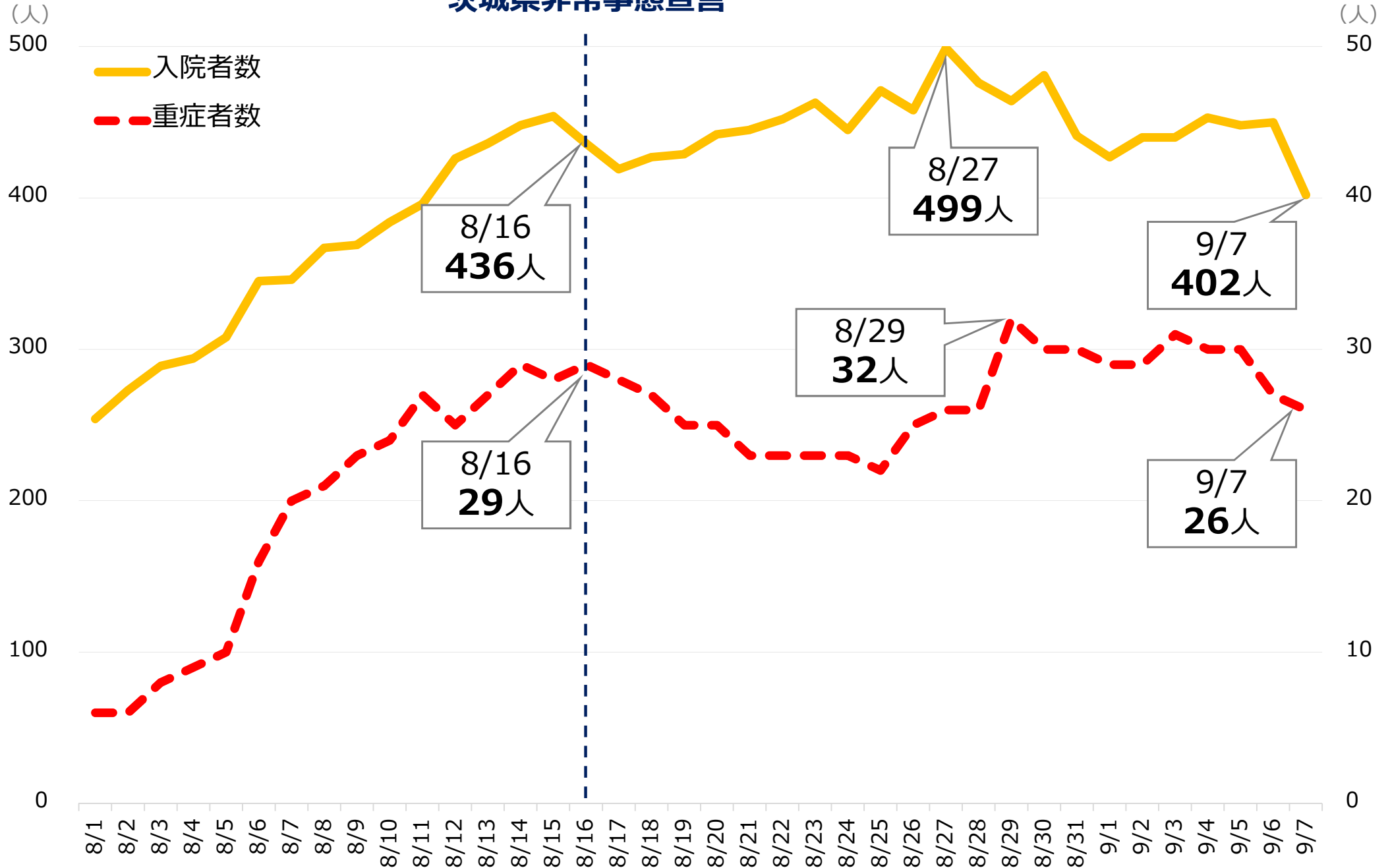
茨城県非常事態宣言



病床稼働状況の推移

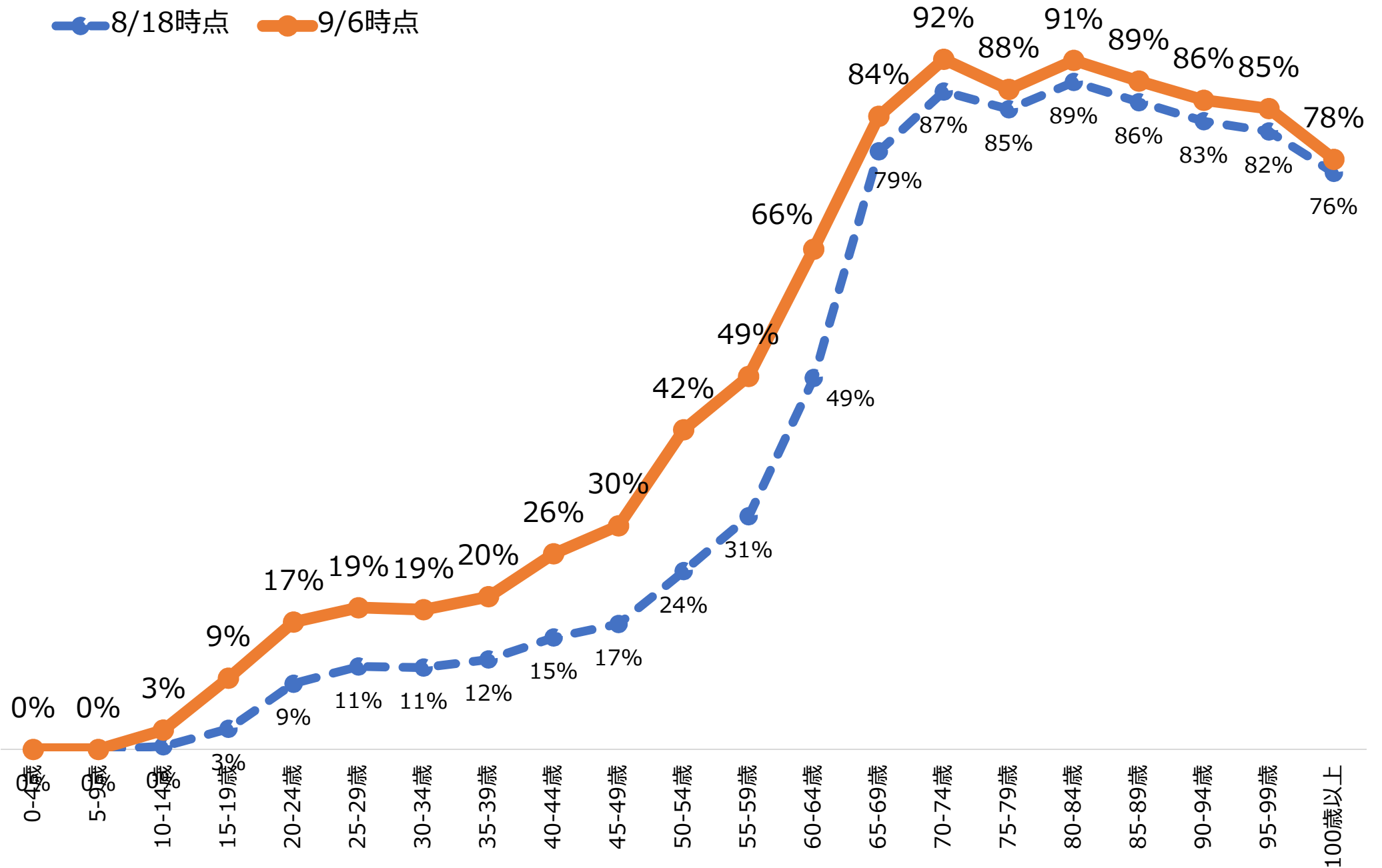
➤ 入院患者の約7割を中等症以上が占め、病床稼働状況はほぼ横ばい。

茨城県非常事態宣言



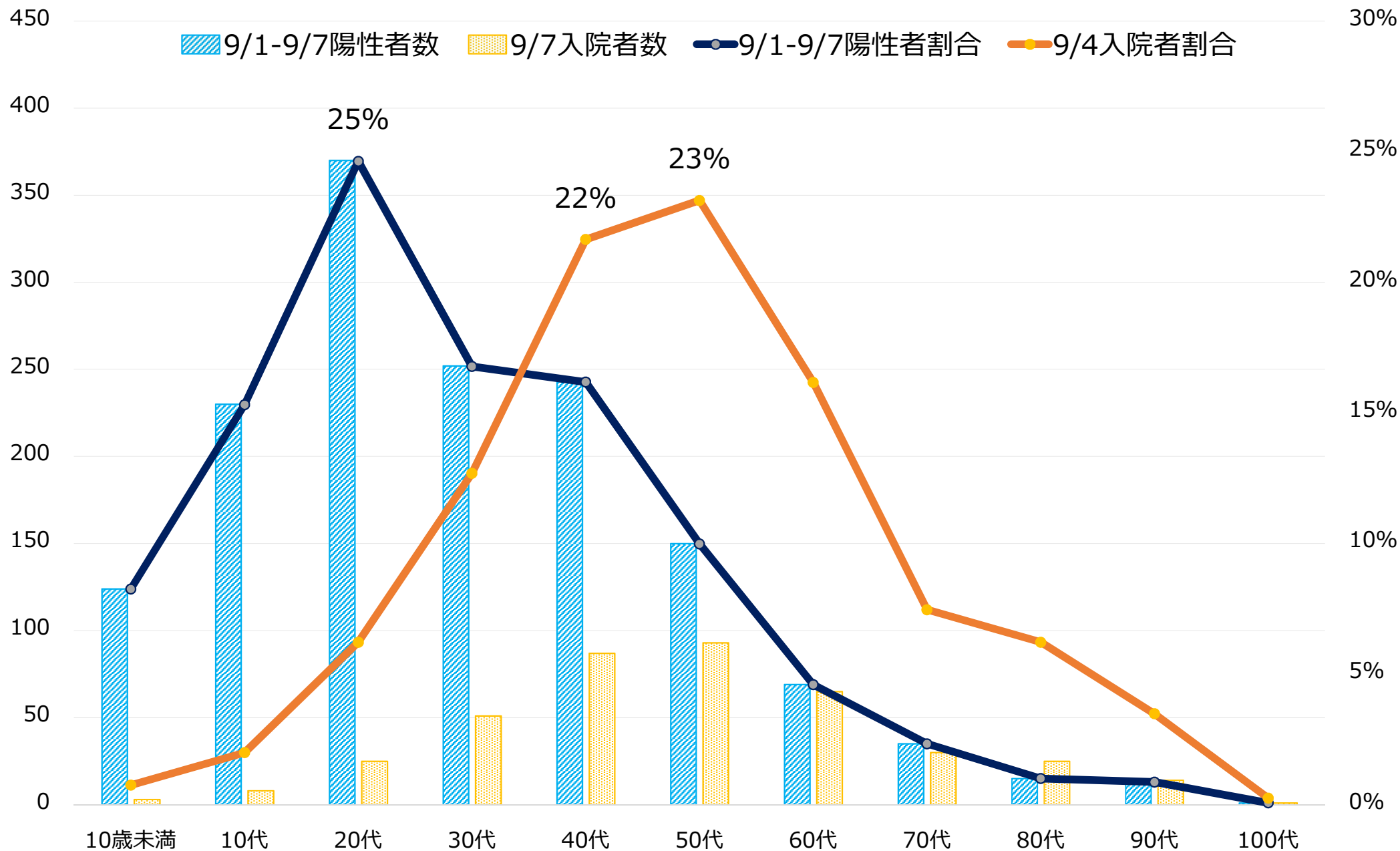
ワクチン2回目接種率の推移

➤ 直近3週間で総接種回数は60万回以上増加。特に40代・50代では接種率が大きく向上。



新規陽性者と入院患者の年齢構成

- 陽性者数は20代が全体の25%、入院者数は40代・50代が各々全体の20%以上を占める。
- 30歳未満では入院する割合が低いものの、入院患者の約1割を占める。



医療提供体制の最新状況

病床確保

- ◆ 9/1から、**791床（うち重症70床）に拡充**。（8月下旬の738床から、既存のコロナ病院で**53床増床**）

抗体カクテル療法

- ◆ 重症化リスクの高い（肥満や糖尿病、喫煙歴あり等）患者に対し、県内**31医療機関で約600件**（うち、県の臨時の医療施設で約170件）**の投与実績**。（9/7時点）
- ◆ 臨時の医療施設で投与した患者の**約9割が入院加療を要せず、宿泊・自宅療養を継続**。
※入院加療を要した1割についても、重症・死亡事例なし。

酸素ステーション

- ◆ 県南の宿泊療養施設内に設置し、入院調整待機中の患者を一時受入れ。
- ◆ これまでに**3名を受入れ**、全員が翌日に入院。（20代男性1名、30代男性1名、50代女性1名）

周産期医療体制

- ◆ **産科的な緊急処置が必要な妊産婦を受け入れるための病床**を、県内3か所の「総合周産期母子医療センター」に1床ずつ・**計3床確保**。
- ◆ 県内9か所の「新型コロナ感染妊産婦入院受入れ医療機関」の応需可否情報を、**県内各消防機関**や**周産期入院調整コーディネーター支援員**等が随時共有。